

旧中央図書館周辺の整備構想について

木下 敬夫 議員(礎)

木下議員 旧中央図書館周辺の整備構想は、今年10回目を迎える花嫁のれん展や安部龍太郎さんの小説「等伯」の直木賞受賞による長谷川等伯生誕の地七尾を生かした観光拋



点づくりに期待が持てます。そこで、交流人口の拡大と中心市街地の活性化に大きく寄与すると期待される整備構想をどのように仕上げていくのか。また、地元関係者や諸団体の意見や要望も今後出てくると予想されるが、検討し合える場づくりを行うのか。併せて、整備に向けてのスケジュールを伺います。

不嶋市長 旧中央図書館は小丸山公園と一本杉通りをつなぐ非常に重要な位置にあると受けとめています。整備にあたっては、等伯生誕の地、一本杉の花嫁のれん展、杉森文庫があることを考慮し、また、地元には高齢者が多く、憩いの場も提供しなければという思いもあります。こうした地域の特性を生かしながら、落

ち着いた空間にし、併せて訪れる皆さんの中心市街地への回遊拠点にもしたいと思っています。地域の皆さんや関係者も多々いわけですので、協議の場を設けるかについては、今後考えさせていただきますが、十分意見集約を図る中で平成25年度中に整備構想を煮詰めたいと考えています。



旧中央図書館

- その他の質問項目
- 津波避難訓練
- 全国名水サミット
- ハッピーリタイアメント

年間10万人のスポーツ合宿誘致の対策について

灘会 桂 徹男 議員

桂議員 能登有料道路が3月31日から無料になり、2年後に能越自動車道が全線開通すると格段に交通アクセスがよくなります。この機に乗じて交流人口の拡大を図ることは、当市における最重要



課題であると思います。その中でも、スポーツ合宿の誘致は、特徴的で大変有力な手段となっていると思います。今年度は3月末まで少し残っています。利用客をどれくらいと見込んでいるのでしょうか。サッカー以外のスポーツ交流人口の拡大策について考えを伺います。

不嶋市長 今年度の利用見込み数は、約5万5,000人泊で、経済効果として、約6億円を見込んでいます。来年度はマレットゴルフ場の整備、城山陸上競技場の大規模改修にも取り組んでいきます。引き続きこういった施設を利用し、スポーツ合宿の誘致に当たってきたいと考えています。交流人口の拡大のためには、合宿誘致を進めていくとともに、平成26年度末の北陸新幹線金沢開業、あるいは能越自動車

道の全線開通なども見据えながら、首都圏での誘客事業を来年度から強化していきたいと考えています。実施に当たっては、県、県観光連盟、能登半島広域観光協会などと連携していきます。また、旅行会社などを招へいして、新たな観光資源の発掘や旅行商品の開発にも努めていく考えです。



和倉温泉多目的グラウンド

- その他の質問項目
- 行財政改革3次プラン
- 新たな商業圏の立地
- 15カ月予算

市税収入の減少傾向対策について

等政会 杉本 忠一 議員

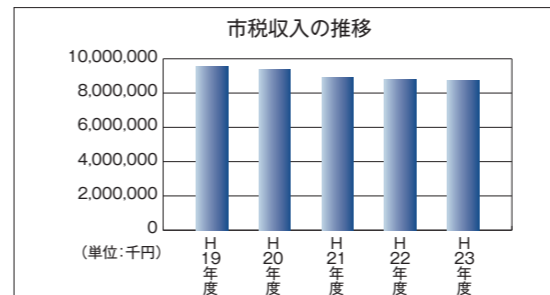
杉本議員 市税収入が毎年減ってきています。新年度の一般会計歳入歳出予算では、前年度との対比で約5,100万円の減収となっています。税収が減っていく状況に対し、行政の役目、運営の課



題は山ほどあります。その対応をどのようにしていくのか伺います。不嶋市長 今後の税収確保対策については、産業振興プランの策定や北陸新幹線金沢開業による交流人口の拡大を進める中で、裾野の広い観光産業を核として、外貨を獲得し、さらに地域内に循環する仕組みもつくり、既存の地場産業や商店街を元気にするような対応を

していきたくないと考えています。一方、歳出の抑制については、自助、共助の精神に基づく協働のまちづくりを進め、さらなる行政組織の簡素化、事務事業の見直しを行うことにより、これまで以上に合理化、効率化を図っていくことにしています。平成25年度中に策定する行財政改革3次プランには、このような視点から歳入歳出面にわたって

十分な検討を行い、将来にわたっての持続可能な行財政運営の実現に資するものにしていきたくないと考えています。



- その他の質問項目
- 安全協定
- 入札問題
- 七尾港の利用拡大
- 広域圏事務組合の解散
- 七尾線存続

世界農業遺産の取り組みと今後について

清友会 中西 庸介 議員

中西議員 世界農業遺産に認定され2年がたとうとしています。いまだに多くの市民から、よくわからないと言われていると思います。この事業を前進させるには、市民一人一人の理



解と協力が不可欠で、地域力を持って推し進めないと難しいと考えます。どのように取り組むのか伺います。小川産業部長 世界農業遺産に認定された平成23年度は、能登の里山里海を多くの方に知っていたため、ポスターやパンフレット、懸垂幕によるPRを行いました。平成24年度は産業部内に世界農

業遺産・6次産業化推進総室を新設し、7月には民間団体とともに七尾市里山里海会議を設立しました。この会議で、里山海の理解を深める機会づくりや保全への取り組み、地域資源の活用策などについての意見交換を行い、今後の取り組み方針として、里山里海に関心を持つこと、参加できる取り組みに重点を置く

ことを確認しました。これを受け、2月に小学生による環境学習活動の成果や保全に取り組む方々による事例などを発表する市民対象のシンポジウムを開催しました。平成25年度においても能登の里山里海の周知を目的に、市民対象のシンポジウムを開催し、市民参加型の取り組みを引き続き行っていく予定です。

- その他の質問項目
- 健全財政の取り組み
- 七尾市教育行政の目標と基本施策
- 経済政策



里山